

四国中央市福祉バス運営審議会 会議概要

1. 日 時 平成 28 年 7 月 29 日（金） 午後 1 時 50 分～午後 2 時 55 分
2. 開催場所 四国中央市 新宮庁舎 1 階応接室
3. 出席者 委 員 出水武美、野村浩校長、山本正行、藤原清子、藤原孝子（敬称略）
事務局 観光交通課長 近藤英樹、課長補佐 篠原 茂、係長 石川恵次

会議の概要

1. 会長挨拶（出水会長）
2. 議 事

○新規委員の紹介及び事務局の変更について

平成 28 年 4 月 1 日より新宮小中学校へ赴任した野村浩校長が新委員として就任し、また所管事務局が機構改革により、総務課から観光交通課に変更となったことを報告した。

○平成 27 年度の利用状況について

資料に基づき、平成 27 年度末までの利用状況を事務局より説明した。各路線とも、人口の減少に伴い、年々減少しているが上山下部線については、四国交通バスの撤退により、福祉バスの乗客が微増していることを報告した。また、隣接する徳島県との接続路線である鳩岡・茂地線及び、天日・茂地線については極端に利用者が少ないことを報告した。

○運行路線及び運行時刻について

現在の運行時刻を改善することによって、利便性を向上させ利用者を増やせないか検討したい。また、利用者が極端に少ない路線をどうするか、今後の方向性を検討する必要があると認識していることを報告した。

（委員からの意見）

- ◎ 福祉バスは、交通弱者の足としてだけでなく、道路状況や沿線家屋の変化に気づき、地域の見守りとしても貢献している。
- ◎ バス路線は、道路の草刈や除雪も比較的早期に対応してくれる。また、バスの往来があると治安にも良い。地域には、目に見えないメリットがある。

3. その他

○電源立地対策交付金について

27 年度の福祉バス特別会計では、電源立地対策交付金 650 万円が一般会計からの繰出金に充当されているので、実質的な一般財源による負担は半減されている。

○運転手の確保について

昨年度に、定年年齢を過ぎているため新しい運転手の募集をかけたが応募がなかった。

運転手の確保に、情報提供等の協力をお願いしたい。

○悪天候時の運休について

台風や暴風雨などの悪天候時は、安全面を最優先にして止むなく運行を中止するのでご理解をお願いしたい。

4. 閉会